

H31年耀光リハビリテーション病院看護師教育計画表

◆認定・他職種者講義他 ■e-ラーニング □外部講師 ★院外研修参加 ※全看護部職員共通 ◎トピックス ●法人内研修 ☆回復期合同

対象病棟	研修内容	種類	日程	参加	研修内容	種類	参加	日程	研修内容			種類	参加	日程				
									実践能力を育成するためのリフレクション									
					新人＆後輩看護師の学びを助けるコミュニケーションの極意～プリセプター・中堅看護師必須の指導術～				新人＆後輩看護師の学びを助けるコミュニケーションの極意～プリセプター・中堅看護師必須の指導術～									
					時系列で学ぶ脳卒中ケアの基本と看護過程				■ 5/17	今どき世代の力を引き出す～対話で広がる組織の輪～			■ 6/18	医療・看護の質と評価～看護管理者が取り組む測定と改善方法～				
選択性研修	全身フィジカルアセスメント能力を上げる	■	4/19		回復の看護計画～大腿骨骨折の場合～	■	6/21		できる！明日からの日勤リーダー～しっかり備えてぱっちり対応～	■	7/23		■	7/30				
	患者にとって安全・安楽な排痰・吸引とは	■	5/24		回復期リハビリテーションでの脳卒中看護とADL評価～リハ・マインドで患者生活を取り戻す～	■	7/19		看護職のための臨床倫理～意思決定支援を中心～	■	8/20		■	8/27				
	「解剖生理学」と「エビデンス」から採血を学ぶ～動画で学ぶ～	■	6/28		患者を早期退院に導くスクリーニングと多職種連携	■	8/16		強くなる！明日からの夜勤リーダー～抱え込まない巻き込み方と頼り方～	■	9/17		■	9/24				
	ストレスの付き合い方～怒りのコントロール方法を身につける～	■	7/26		患者の暮らしを支える糖尿病・透析看護の基本	■	9/20		認知症の原因疾患と病態・治療(医学編1)	■			■					
	末梢静脈カテーテル(留置針)の留置と管理“超入門”	■	8/23		早期発見・支援できる！最新糖尿病治療と透析予防	■	10/18		認知症の行動・心理症状(BPSD)のせん妄予防と対応(医学編2)	■	11/26 (60分)		■					
	安心・安全な注射技術を学ぼう～皮下、筋肉、静脈注射～	■	9/27		看護師が行うリハビリテーション栄養	■	11/15		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術(看護編1)	■			■					
	本当にそれで大丈夫？薬剤投与の注意点	■	10/25		心不全患者における看護計画と緩和ケア	■	1/17		認知症患者に対するコミュニケーション方法および療養環境の調整方法(看護編2)	■	12/24 (60分)		■					
	心電図モニタの活用方法を知る～いざという時に焦らないで行動しよう～	■	11/22		新しい酸素療法「ハイフローセラピー」の基本と実践	■	2/21		認知症の倫理的課題と意思決定支援(倫理編)	■	1/23		■					
	膀胱留置カテーテル関連尿路感染(CAUTI)原因から対策まで～CAUTI予防のキホンを学ぼう～	■	12/27															
	アラームが鳴ったらこうする！輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い方～トラブルから学ぼう～	■	1/24															
	臨床倫理入門	■	2/28															
	人工呼吸器のファーストタッチ看護のポイントとアラーム対応	■	3/24															
	急変時対応(シーン別実践編)	☆	調整															
	回復期リハ病棟とは	回復期Ns																
	ADL・FIM・看護必要度	データ管理																
	他職種協同(リハビリカンファ)	リハビリ																
	退院支援	回復期Ns																
	地域連携バス	バス担当																
	認知症・DST	DST																
	リスク管理・転倒転落・センサー	医療安全																
	排泄ケア	排泄委員																
	ケア技術・福祉用具	ケア技術																
	褥創・皮膚ケア	皮膚ケア																
	くちプロ・摂食嚥下	摂食嚥下																
	リハ栄養・NST	NST																
	看護診断・看護記録(中途)	記録委員																

個人学習可能研修(看護師全職員対象・年間配信研修): 視聴希望する場合は、病棟の教育委員へ申告する。

研修内容		褥瘡のサインを見逃すな！～前兆と確認方法、評価方法を理解しよう～	基礎習得コース	アクシデントを未然に防ぐ感性を磨こう～患者へ安全な医療を提供するために～	基礎習得コース	1秒でも速くあなたができる急変対応～手技・連絡・応援～	基礎習得コース			
		別途新人研修プログラム参照								
							看護研究共同研究者・院内外発表			
備考		各テーマ通年配信(2020年3月まで)(1テーマ約60分)		配信開始月1日から2020年3月まで1テーマずつ配信(期間1ヶ月間)(1テーマ約50分)			配信開始月11日～2020年3月まで配信(期間1ヶ月間)(1テーマ約50分)			
段階	ステップ1 (J1レベル相当)	ステップ2 (J2～J3相当)		ステップ3 (J4～S5相当)		ステップ4 (S6～M相当)				
目的	対象者に必要な基礎知識と技術習得が出来る	状況から、患者問題を分析、実践、評価が出来る		患者回復のために協同行動と後輩指導ができる後輩育成が出来る		患者回復のためあらゆる場面でリーダーシップがとれる				
目標	相談や助言を受けながら対象者の看護ができる	豊富に知識を習得し、応用しながら対象患者に適切な看護実践ができる		院内外の多職種連携をとりながら患者・家族に適切な看護及び後輩指導ができる		マネジメント力を発揮し、家族を取り巻く全ての問題解決と看護実践力を高めることができる				

- 各自自身の等級、当該病棟の範囲を優先して受講計画を立てて下さい。その幅を超すことに制限は設けませんが、無理のない計画を立てて下さい。
- 受講内容は、自身の目標シートと連動させてください。
- 受講した項目は、必ず受講印を押してあることを確認する。(ポイントカードも持参して下さい)
- eラーニングは約50分コースです。別途スケジュール表で、配信日程・場所を確認して下さい。計画側からのメール確認は行いません。
- 自己学習研修は、等級の区別なく誰でも学習可能な研修です。自己研鑽の目的としますので、自宅での学習とし、ポイントは発生しません。
研修を受ける場合は、病棟教育委員へ申し出る。自己学習をする場合は、自分のID・パスワードで視聴すること。
- 他の研修と重なった場合日程変更を行う場合があります。
- 教育委員は、ステップごとに担当を決めています。ステップの教育運営全てに対して、1年間を通して責任運営する。
- 緑色の部分は、両病棟共通研修項目です。
- e-ラーニングの中の種類と予定月が緑色の部分の緊急時対応は、今まで通り教育委員が実施、ステップ3のトピックスは、外部講師招聘による研修の予定です。
- 青色は、管理者と管理候補生の研修項目です。(内容によっては介護職管理者も参加ができる)
- 介護職教育計画は、別途チーフ、副チーフで別途計画立案する。
- 上記のような計画変更に伴い、教育委員会も看護師と介護職は独立開催とする。(今まで通り同日でも、集まりは職種別、また介護職には介護の教育の責任チーフ(副チーフ)が入り、委員会を牽引する。支援を看護の教育責任者が行う。
- 研修開催日は基本第4金曜日。重複する場合は第3金曜。祝日等の場合は変則開催とする。その際は前もって連絡を行。また、参加者また、参加者、主催側の、参加の意識づけを高めるため、さらに他部門の研修場所確保などの混乱を最小限にするため、曜日を固定する。
- 年1回は、外部講師を招へいし、中堅対象にトピックス的な企画を行う。

2019年耀光リハビリテーション病院看護部選択型教育内容

◆認定・他職種者講義他 ■e-ラーニング □外部講師 ★院外研修参加 ※全看護部職員共通 ◎トピックス ●法人内研修 ☆回復期合同 ♪新人・中途採用者 ▲全員対象

	研修内容	種類	予定月	担当	研修内容	種類	予定月	研修内容	種類	予定月	研修内容	種類	予定月
選択型研修	急変時の対応(3回シリーズ)	☆		教育委員	入院中の認知症患者に対するコミュニケーション方法および療養環境の調整方法(看護編2事例)	■▲	11/26 (60分)	院内発表につなげる気づき ～気づきから臨床研究につなげるために～	■▲		文献はなぜ読むの？ どう探すの？	■▲	
	入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術(看護編1)	■▲		認知症の原因疾患と病態・治療(医学編1)	■▲	文章の書き方 人に伝わる文章を書くコツ		■▲		発表で気をつけること、 おさえるポイント 次の研究につなげるために	■▲		
	入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術(看護編1事例)	■▲		認知症の行動・心理症状(BPSD) せん妄の予防と対応(医学編2)	■▲	よりよい看護ケアのための ケーススタディ 実践につなげる研究とは		■▲					
	入院中の認知症患者に対するコミュニケーション方法および療養環境の調整方法(看護編2)	■▲		認知症に特有な倫理的課題と 意思決定支援(倫理編)	■▲	1/23	倫理的配慮の基本	■▲		外部講師年2回	□○		

全ステップ対象 通年配信

介護職基礎研修	医療制度の概要及び病院の組織の理解	■▲	5/22		老化の理解1 基本知識と身体の変化	■▲		根拠に基づいた介護行為と 介護過程の考え方	■▲	5/29	身体拘束を招く不適切なケアを防ぐ取り組み	■▲	6/5
	チームの一員としての看護補助業務の理解	■▲			老化の理解2 病気や症状の特徴と観察のポイント	■▲		介護スタッフに求められる倫理	■▲	6/26	医師法17条 医療除外行為を知っておこう	■▲	7/17
	守秘義務・個人情報保護の基礎知識	■▲	6/12		認知症の理解 ～利用者への対応・支援と家族への支援～	■▲	10/9	見逃してはいけない 高齢者の身体の特徴とその変化	■▲	9/25	人生の最終段階における 介護の役割とケア	■▲	8/21
	医療安全 -事故防止の基本的心構え 事故発生時の対応	■▲			障害の知識 ～利用者への対応・支援、家族への支援～	■▲		精神疾患を理解する 統合失調症・うつ病・躁うつ病	■▲	11/27	介護施設の災害・防災対策 熊本地震の経験を踏まえて	■▲	9/18
	感染予防 ～手洗い・標準予防策など～	■▲	7/3		移動・移乗に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護1 基本的理解を深める	■▲	11/6	高齢者介護に必要な 基本的な医学知識	■▲	2/26	認知症を持つ人の視点に立った介護職の役割	■▲	10/2
	労働安全衛生の基本的基礎知識	■▲			移動・移乗に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護2 ホティメニクスの理解	■▲					2021年からの介護報酬改定 を見据えたこれからの 介護施設のあり方	■▲	10/23
	接遇マナーの基本 ～患者・家族へのかかわりかた～	■▲	7/31		移動・移乗に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護3 歩行の基礎知識	■▲	1/22				介護職と医療・地域との連携の実際	■▲	11/13
	倫理の基本 ～医療機関において求められる倫理的な行動～	■▲			移動・移乗に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護4 車椅子の基礎知識	■▲					アセスメント ～どこをどのようにみて、ニーズを導き出すのか～	■▲	11/20
	環境整備 ～ベッドメイキング・リネン交換～	■▲	9/4		着替えに関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護	■▲					いつもと何かが違う 利用者への対応法	■▲	1/29
	診療に關わる補助業務の理解	■▲			清潔に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護	■▲					亡くなる前も その人らしさを大切に	■▲	2/28
	人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護	■▲			食事に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護1 食事の基本と摂食・嚥下	■▲					高齢者の虐待防止の理解	■▲	3/11
	介護の基本1 ～介護職の仕事内容～	■▲			食事に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護2 食事介助と口腔ケア	■▲					褥瘡サインを見逃さない！ ～前兆と確認方法・評価方法を理解しよう～	■▲	3/25
	介護の基本2 ～利用者の状態を把握する～	■▲			排泄に関連したところとからだの しきみと自立に向けた介護1 しきみと機能の低下・障害が及ぼす影響	■▲							7/31
	介護の基本3 ～介護従事者の倫理～	■▲			排泄に関連したところとからだのしきみ と自立に向けた介護2 アセスメントと排泄介助	■▲							8/28
	介護の基本4 ～介護職における安全の確保とリスクマネジメント～	■▲			夜勤の睡眠対策1・2 コミュニケーション・タイプ診断	■▲					介護職の材確保と定着に向けた実践事例	■	10/30
	介護におけるコミュニケーション技術1～基本～	■▲									いまどきの世代の 力を引き出す ～対話で広がる組織の輪～	■	6/18
	介護におけるコミュニケーション技術2～実践～	■▲									できる！ 明日からの日勤リーダー しっかり備えてばっちり対応	■	7/23
全テーマ通年配信						毎月1日から2020年3月末まで配信				毎月1日から2020年3月末まで配信			
段階	ステップ1 (J1レベル相当)	ステップ2 (J2～3相当)				ステップ3 (J3～J4相当)				ステップ4 (S5～S6相当) 管理者			
目的	介護に必要な基礎知識と技術習得が出来る	状況から問題意識を持ち習得した知識、技術を生かし 介護士としての役割を果たす				患者回復のために多職種連携と後輩指導・育成 が出来る				あらゆる場面でリーダーシップがとれる。 病棟リーダーシップを発揮する			
目標	相談や助言を受けながら対象者の介護が出来る	豊富に知識を習得し応用しながら対象患者に適切な 介護が出来る				多職種連携を取りながら患者・家族に適切な介護 が出来る				マネジメント力を発揮し問題解決と介護実 践力を高めることができる。介護職の教育的役割、業務改善ができる			

- 各自、自身の等級、当該病棟の範囲を優先して受講計画を立てる。その幅を超すことに制限は設けませんが無理のない計画を立てる。
- 受講内容は、自身の目標シートと連動させる。
- 受講した項目は、必ず受講印を押してあることを確認する。(ポイントカードも持参して下さい)
- 介護職のe-ラーニングは1テーマ約15～30分コースです。(黄色)介護職は約60分コースです。別途スケジュール表で、配信日程・場所を確認して下さい。
計画側からのメール確認は行いません。
- 教育委員は、担当を決めています。ステップの教育運営全てに対して、1年間を通して責任運営する。
- 上記の計画変更に伴い、教育委員会も看護師と介護職は独立開催とする。
- テスト用紙は、研修参加者の記録用紙・資料として使用し、他者による採点は行わない。